

わたしたちにできる救命処置

通信①

キーワード：AED

1年間に約7万人。これは、日本でとつぜん心臓が止まって亡くなっている人の数です。そして、大人だけではなく、元気な子どもにも起こるということを知っていますか？

2011年9月29日、さいたま市の小学校で、6年生の女の子が、駅伝の練習中に倒れて亡くなるという悲しい事故がありました。このような事故が、いつあなたのまわりで起きるかわからないのです。あと4か月で中学生になる皆さんに、とつぜんの事故から大切な命を守る方法をぜひ知ってほしいと思います。

1月に、みんなでAEDの使い方を含めた心肺蘇生法しんぱいそせいほうを勉強します。そのために必要な内容をお便りでお知らせします。みなさんが、安全について考え、自分や周りの人の大切な命を守るために、自分に何ができるのかを知るきっかけになってほしいと願っています。

AEDってなに？

AEDは、日本語では「自動体外式除細動器」と言って、
心電図しんでんずを自動的に調べ、電気ショックきこうが必要かどうかを判断して、
必要な場合に心臓しんぞうに電気を流す機械きかいです。



～いくつわかるか答えてみよう！～

Q1：学校には、AEDが何台あるでしょうか？1つ選んで○をつけましょう。

(1台 ・ 2台 ・ 3台 ・ 1つもない)

Q2：学校には、どこにAEDがあるでしょうか？○をつけましょう。

(保健室 ・ 職員室 ・ 児童玄関 ・ 体育館)

Q3：次の場所にAEDがありますか？あてはまるものすべてに○をつけましょう。

- ① スーパーA ()
- ② 郵便局 ()
- ③ コンビニエンスストア ()
- ④ 消防署 ()
- ⑤ 市立図書館 ()
- ⑥ 中学校 ()
- ⑦ スーパーB ()
- ⑧ 高等学校 ()
- ⑨ ディスカウントショップ ()



学校にある
AEDを
実際に確認
してみよう！

Q4：AEDについて正しいと思うものに○をつけましょう。

- ① AEDはしゃべります ()
- ② AEDは胸骨圧迫をする機械ではありません ()
- ③ AEDは心臓に電気を流す機械です ()
- ④ AEDは電気ショックが必要かどうかを診断してくれます ()